



長野県須高地域で古くから植栽されてきたクマスギを「花粉の少ない品種」として認定しました

スギ花粉発生源対策として、県独自にクマスギを「花粉の少ない品種」として以下のとおり認定しました。クマスギから採取した穂木^{ほぎ}を活用した苗木生産を行い、県内産の「花粉の少ない苗木」の安定的な流通を目指します。

認定日

令和6年3月22日(金)

認定事項

低花粉スギ品種(花粉の少ない品種[※])

※花粉の少ない品種とは

国の「スギ花粉発生源対策推進方針」に基づき、以下の基準により国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターが開発した品種及び都道府県が認めた品種等

無花粉スギ品種	花粉を全く生産しない
少花粉スギ品種	花粉生産量が一般のものに比べ約1%以下
低花粉スギ品種	花粉生産量が一般のものに比べ相当程度少ない

認定品種

品種名:クマスギ(県営米子採穂園(須坂市)内で管理しているものに限る)

概要:長野県須高地域を中心に古くから植栽されてきた、挿し木用の在来品種
花粉量が少なく、成長、強度、材質等の林業用としての特性も良好である

今後の活用

花粉の少ない苗木の流通のための取組のひとつとして、クマスギから採取した穂木^{ほぎ}を活用した苗木生産を試験的に行う予定です(詳細は別紙のとおり)。



県営米子採穂園のクマスギ(須坂市)



クマスギ



通常のスギ

花粉量の違い(3月中旬撮影)

この事業は、2050ゼロカーボンに資する事業です。



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

(問合せ先)

担当 林務部森林づくり推進課造林緑化係
井出、宮坂

電話 (直通)026-235-7270
(代表)026-232-0111 (内線)3267

FAX 026-234-0330

E-mail shinrin@pref.nagano.lg.jp